

茨城県

定数：6名

立候補者数：5名



氏名 平田 清次

都道府県士会 茨城県

年齢 47

勤務先名称 ひたち医療センター



氏名 浅川 育世

都道府県士会 茨城県

年齢 55

勤務先名称 茨城県立医療大学

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2007年	茨城県理学療法士会	地域医療福祉局（現、社会・職能局）部員
2011年	茨城県理学療法士会	事務局部員
2013年	茨城県理学療法士会	事務局次長
2019年	茨城県理学療法士会	事務局長・常任理事
2022年	日本理学療法士協会	士会協会情報共有ツール検討部会委員
2023年	茨城県理学療法士会	副会長兼事務局長・常任理事

この度、公益社団法人日本理学療法士会代議員に立候補させていただきました平田清次です。士会業務としましては、2007年度より地域医療福祉局（現、社会・職能局）、2011年度より事務局で活動させていただいております。2023年からは副会長兼事務局長・常任理事として様々な業務を経験させていただいております。また、勤務先は急性期が中心の病院であり、茨城県管理者ネットワークでは副幹事長・急性期代表幹事を務めさせていただいております。日々の地域の活動において、縦のつながりだけでなく、横のつながりも重要と考えており、協会・士会や県内会員の連携強化に協力できればと思っております。現在の経験を活かし、今後は士会や協会の活動、特に事務局機能強化、さらには、地域における多職種連携に貢献できればと考えております。何卒、よろしくお願い致します。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

現茨城県理学療法士会会長
 会員皆様の貴重な意見をくみ上げ、協会に強く発言してまいりたいと思います。士会の抱えている課題はまさしく協会で抱えている課題であるかと思っております。課題解決のため協会に提言し、茨城県理学療法士会のより一層の発展、ひいては理学療法士協会の発展につなげられるよう頑張りたいと思います。



氏名 長谷川 聡

都道府県士会 茨城県

年齢 44

勤務先名称 水戸メディカルカレッジ



氏名 大曾根 賢一

都道府県士会 茨城県

年齢 56

勤務先名称 筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成27年～令和5年6月：公益社団法人茨城県理学療法士会 水戸ブロック 副ブロック長
 平成29年～平成30年：第53回日本理学療法学会 渉外部長
 平成29年～現在：公益社団法人茨城県理学療法士会 定款組織検討委員会委員長
 平成30年～現在：公益社団法人日本理学療法士協会 代議員
 令和5年7月～現在：公益社団法人茨城県理学療法士会 水戸ブロック ブロック長

この度、公益社団法人日本理学療法士協会の代議員に立候補させていただきました、水戸メディカルカレッジの長谷川聡と申します。これまで3期6年間、代議員として日本理学療法士協会と茨城県理学療法士会の橋渡しに微力ながら力を注いできました。現在まで理学療法士養成校で教鞭を執り若い理学療法士の育成に携わってきました。その経験を通じて、理学療法士の専門性や倫理観を養い、高い水準の実践能力を持った人材を育てることの重要性を痛感しています。若手の理学療法士は臨床の実践においてさまざまな困難に直面することがあります。私は若手の理学療法士の声に耳を傾け、彼らが成長し、活躍できる環境を整えていきたいと思っております。皆様のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【日本理学療法士協会】
 2005年～現在 代議員
 2015年～2017年 女性会員対策特別委員会委員
 2017年～現在 組織・規程等検証委員会委員

【茨城県理学療法士会】
 1997年～2011年 理事、事務局長
 2011年～2015年 理事、副会長
 2015年～2017年 専務理事
 2017年～現在 専務理事、副会長

【立候補の趣旨】
 現在の社会において高齢化や人口減少など急速に変化する環境のなか、理学療法士が様々な場面で活躍をするためには、日本理学療法士協会と都道府県理学療法士会が一体となり役割を持って活動を進めていかなければならないと考えております。この度、日本理学療法士協会代議員に立候補するにあたり、これまでの経験を踏まえ協会と都道府県士会が一体となり理学療法士が社会に貢献し様々な場面で活躍できる環境づくりに役に立たせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



氏名 唐澤 幹男

都道府県士会 茨城県

年齢 41

勤務先名称

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】

公益社団法人日本理学療法士協会代議員
公益社団法人茨城県理学療法士会理事

【立候補の趣旨】

9年前に病院の外に出て、理学療法士の世界が全く違って見えることがたくさんありました。
しかし本質としては国民の皆様の健康に関わる仕事のカタチを変えて行っているに過ぎないと感じております。保険診療内とは少し違った視点からの意見を吹き込みたい、理学療法にできることを広めて行きたい、そんな思いをととても強く持っています。
また自費コンディショニングをもっと普及し、困っている方を救うために様々な活動を行いたいと考えています。